

第64回日本学校農業クラブ全国大会平成25年度首都圏大会平板測量競技会 事前Q&Aに対する質問 回答

No	質問内容	回答
1	・測量針が折れた場合、図板から抜くために小型のペンチ（ラジオペンチ）を使用してもよいですか。	・使用することはできません。全国大会実施基準・A競技基準(注5)に「上記以外の器械器具等の使用は認めない」と記載されています。
2	・測量針が折れ、図板から抜くことができない場合、どのように対処したらよいですか。	・競技や成果物等(図面)に支障がないように続行して下さい。
3	・審査員の持っている審査用紙を公開してほしい。(減点となる項目一覧が欲しい)	・公開することはできません。このような要望については、県連において協議の上、春季代議員会で県連提出議題として提案するとよいと思います。そこではじめて今後の大会に関する提案として検討されることになると思います。
4	・昨年度の入賞チームの図面や計算したものを公開してほしい。	・同上
5	・競技後、図面等の返却をお願いしたい。	・全国大会実施基準・B実施細目(g)に「いったん提出した測量成果は理由のいかんにかかわらず返却しない」と記載されています。
6	・事前Q&A No. 33で図紙等は大会当日に掲示します。とありますが、当日のいつ・どこに掲示されますか。	・受付から選手待機場所の順路上にあります。受付後、待機中に確認してください。
7	・宿泊場所近くに適当な練習場所（公園・学校等）がありますか。	・今大会では練習会場はありません。ただし、宿舎の一部で一視準程度の練習を行う場所を準備しました。練習時間は22日15時～17時と23日10時～11時です。時間の割振り等はいりません。限られた時間しか確保できませんでしたので、譲り合い、ルールとマナーの遵守にご協力ください。
8	・競技中、三脚の脚を完全に伸ばしていないと減点になりますか。	・減点にはなりません。必要な高さで作業を行ってください。
9	・一次作業、二次作業で巻尺本体を持って巻き取る選手が巻尺を伸ばしながら移動すると減点になりますか。	・減点としません。測距の際には必ず巻尺を5m以内に巻き取ってから次の作業を行ってください。
10	・平板の据え付け時に、平板の高さを低くして、膝をつきながら測定する姿が見られたが減点となっているのか。	・今大会では減点としません。
11	・図面の仕上げで、境界線と対角線、対角線と図郭線等の線の太さや濃さを変える必要はありますか。	・必要ありません。
12	・Q&A No. 6で「帽子はチームで統一」とありますが、一人または二人だけ帽子を着用することはできないのですか。	・3人で服装を統一してください。
13	・作業中に測量針が折れた時や落としたときは減点となりますか。	・測量針の破損については減点としません。しかし、地面に落下した場合は減点とします。
14	・Q&A No. 54についてNo. 1からNo. 2に平板を移動中に、No. 2からNo. 3の測点間に巻尺を張り、測距の準備をして平板の到着を待っていても減点となりませんか。	・減点としません。ただし、測距ができるのは視準する測線のみです。
15	・求心や距離測定の際に腰を下ろしますが、その時に測距ピンや下げ振りの紐が地面につくと減点になりますか。	・減点としません。ただし、下げ振りの紐についている金具が地面についた場合は減点とします。
16	・Q&A No. 63で巻尺を空中に持ち上げずに、地面に接したままで巻き取っても減点となりませんか。	・減点としません。ただし、引きずらないように注意してください。
17	・Q&A No. 69で「3次作業仕上り図面では結線してください」とありますが、1次作業終了時に測量針の影響で結線できていなくても減点となりませんか。	・減点としません。ただし、3次作業終了時には必ず結線してください。
18	・Q&A No. 90のオフセット野帳で横の線が縦の線よりはみ出していなくても減点となりませんか。	・減点とします。実施基準及びQ&A No. 88、89、90の図を参照してください。
19	・二次作業において対角線測距移動の際、巻尺を5m以内に巻き取り、そのまま巻尺を伸ばしながら次の対角線へ移動（前手・後手ともに）するのは減点となりますか。	・減点としません。測距の際には必ず巻尺を5m以内に巻き取ってから次の作業を行ってください。
20	・やけど防止の手袋が大きい場合、指先を切って調節してもよろしいですか。	・手袋は着用しても構いませんが、このような身に付けるものについても、加工はしないでください。